



救助の呼び掛け迅速な少年感謝

9月5日（月）、十勝毎日新聞の「まちの声」に、上記の見出しで以下のような記事が掲載されました。

8月31日夕刻、帯広の森アーチェリー場でトレーニング中、自転車に乗った少年が飛び込んで来ました。「外国人が倒れています、救助をお願いします」。少年と共に即現場へ駆けつけると、自転車で転倒してうずくまっている外国人女性を発見。お話をうかがうとJICA研修員とのこと。手足の打撲、擦過傷があるものの、頭部への受傷は無く、バイタルサインにも、特に問題が無さそうでした。

何とか自力歩行ができそうだったので、少年、通りがかりの男性、アーチェリー場の管理人さんの連携プレーで、JICA帯広センターへ搬送し、そこから医療機関へ連絡することができました。

悲惨な少年犯罪が続く中、この少年の真面目で機転の利く行動に一筋の光明を見る思いがしました。帯広二中1年生のS君、ありがとう。

（帯広市、歯科医師・船津三四郎）

この記事を読んで、私も「船津」さんと同じように一筋の光明を感じました。S君である、1年2組「清水結斗」君は、人間関係が希薄でささいなことで犯罪が起きる現代社会において、人は助け合って生きていくものだということを、身をもって示してくれたと思います。勇気ある行動、本当にありがとう。

教育実習生「野口梨緒」先生、ようこそ二中へ

9月5日（月）から16日（金）までの2週間、本校卒業生「野口梨緒」先生が、2年2組を担当クラスとし、教育実習を行います。「野口」先生は6年前に本校を卒業し、現在は弘前大学教育学部養護教諭養成課程の3年生です。中学生時代は勉強とピアノを頑張っていたそうです。「野口」先生の先輩として教師としての頑張りに期待するとともに、生徒の皆さんも気軽に声をかけて、「野口」先生から多くのことを吸収して欲しいと思います。



水難事故の防止について

先日の立会演説会の際に全校生徒にお話ししましたが、先日、オホーツク管内の網走市において、高校生2人が増水した河川で遊んでいて溺死するという痛ましい事故が発生しました。

今年はこれまでになく、台風上陸による被害が頻発しており、今後も、台風等の接近・上陸に伴い、大雨による河川の増水等による水難事故の発生が懸念されます。

つきましては、各ご家庭でも、増水時の河川に近づかないよう指導していただくとともに、次の事項を参考に水難事故防止に万全を期すようお願い致します。

1. 水辺での活動に関する事故の危険を予見し、自ら回避できるよう適切に指導するなど安全指導の充実に努める。
2. 子どもたちが個人やグループで海や河川などでの水遊びに出かけるときには、必ず保護者や水泳の熟練者と同行するようにすることや、危険な場所には絶対に立ち入らないことについて指導を徹底するとともに、事前に、行き先、帰宅の予定日時、同行者等を家庭に知らせるよう習慣付けること。
3. 海、河川、湖沼地、用水路、プールなどの水難事故のある場所については、危険箇所の有無や、監視員の配置及び巡回指導の有無などについて事前に把握しておくように努めること。

9月25日（日）は西ブロック一斉ゴミ拾いです

西地区の活性化を願って、9月25日（日）9：00から1時間程度の予定で行われる西ブロック一斉ゴミ拾いですが、現在参加人数が少ない状況です。澄み切った秋の青空のもと、是非、親子いっしょにゴミ拾いをしましょう。皆さま、お気軽にご参加ください（教頭まで申込み）。

◇スケジュール	9：00	二中学生玄関前集合
	9：10	ゴミ拾い開始
	9：50	ゴミ拾い終了・片づけ
	10：00	解散

◇服装・持ち物	動きやすく汚れてもよい服と靴、軍手、火ばさみ（必要な方）。
	※その他、帽子、タオルなど必要と思うもの。

◇ゴミ袋は用意しております。

